

一人ひとりの熱意が運動の原動力

今年度の「小さな親切」運動功労者の皆様をご紹介します。

例年、「小さな親切」運動功労者の皆様は、全国表彰式で表彰しておりますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が深刻な問題となっている状況を鑑みて、11月22日(日)に開催を予定していた令和2年度「小さな親切」運動全国表彰式の開催を中止いたしました。受賞者の皆様には、地域組織からの伝達及び郵送にて賞状と楯を贈呈いたしました。

内閣官房長官賞



北村清士

福島県本部前代表

(株式会社東邦銀行取締役会長)

平成17(2005)年、県代表に就任。毎年多くの子どもたちを「小さな親切」実行章に推薦するなど、青少年の心の育成活動に特に力を入れた。また、平成21(2009)年には、エコキャップ収集活動を広く県内に呼びかけ、全県的な取り組みに発展させた。



東日本大震災発生以降は、復興支援にも力を入れ、運動本部が主催する被災地域での青少年すこやか育成事業に積極的に協力した。

北村前代表(左)と運動本部・山橋専務理事

林 静誠

千葉県 船橋市支部代表

(社会福祉法人清和会理事長)

昭和62(1987)年、船橋市支部の設立と

ともに副代表に就任。平成4(1992)年より支部代表を務め、支部主催の作文コンクールに特に力を入れている。

また、作文コンクール応募者の中から、「小さな親切」実行章の推薦案件を選考する取り組みを、運動本部に先駆けて実施するなど、独自のアイデアで青少年の心の育成に貢献した。

下田 裕紹

群馬県 富岡支部前副代表

(退職校長会甘楽富岡支部元副支部長)

平成15年(2003)年の入会以来、会計、事務局長を歴任。元校長の経歴を生かし、「小さな親切」実行章の贈呈や支部主催の作文コンクールに尽力。また、自ら学校や公民館、会員企業などを訪問し、運動への参加を呼びかけ、会員増強にも力を注いだ。



富岡支部のついでで表彰を受ける下田前副代表(右)



千葉県本部・青柳俊一代表(左)より贈呈

平成29(2017)年、副代表に就任し、支部創立30周年の記念誌の編集を担当した。

岡田 博利

福岡県 行橋支部副代表

(元福岡県議会議員)

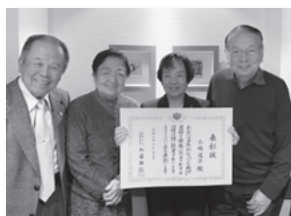
平成7(1995)年の入会以来、「小さな親切」実行章の推薦活動、クリーン大作戦などを積極的に推進し、長年に亘って温かく美しい地域づくりに取り組む。平成22(2010)年、副代表に就任し、九州ブロック会議や全国地方本部事務局長会議に参加するなど、他県との情報交換も積極的に行っている。

小林 道子

埼玉県 川口支部事務局長

(民生委員・児童委員)

昭和44(1969)年より、地域の親切運動に参加。昭和53(1978)年、同支部が発足すると運動に正式加入し、翌年より事務局長を務める。例年、約3,000名が参加する大規模なクリーン大作戦の参加呼びかけや、ごみ袋配布等の準備を主導するなど、支部の中心的存在として長年地域の環境美化に貢献している。



川口支部・原島代表(左)と役員の小堀夫妻とともに

